

群馬県議会・新星会  
金子わたる事務所  
〒377-0007  
渋川市石原144-1  
電気センタービル2F  
☎0279-26-3841

# 富岡製糸場・絹産業遺産群 世界遺産登録

暑中お見舞い申し上げます。 皆さんお元気ですか  
『わ・わ・わ通信』の金子わたるです

## 金子わたるの県政・議会報告 【わ・わ・わ通信】

いよいよ夏本番。暑い日が続いていますが皆さまにおかれましては、元気にご活躍のことと存じます。日頃より私の議員・議会活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

『わ・わ・わ通信』をお届けいたします。富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されました。日本の近代化を支えた群馬の絹遺産の価値を後世に伝えていくとともに、県内の活性化につながるよう提言していきます。

H26年度は渋川警察署の新築整備、県営住宅の移転新築、伊香保スケートリンクの改修等が予算化され、高渋バイパスや上信自動車道もスピードアップで工事が進みます。渋川医療センターも着工となりました。農業被害対策はこれからが正念場です。

県議会議員として皆さまの意見をしっかりと聞きながら、市政と連携して取り組んでまいります。冷夏予想が一転して猛暑に変わりました。外出時はもちろん、自宅でもこまめに水分を補給し、熱中症にならないようご注意ください。

群馬県議会議員

金子 わたる



東日本大震災の復興調査  
(福島県浪江町)

### 富岡製糸場と絹産業遺産群 世界遺産登録に

県が2003年8月に富岡製糸場を世界遺産にする研究プロジェクト開始を発表してから、11年後の6月25日に富岡製糸場と絹産業遺産群が正式登録となりました。関係各位のご尽力に敬意を表します。

私は「観光・世界遺産に関する特別委員会」に所属しています。この登録を機に、県内観光の活性化につながるよう取り組んでいきます。



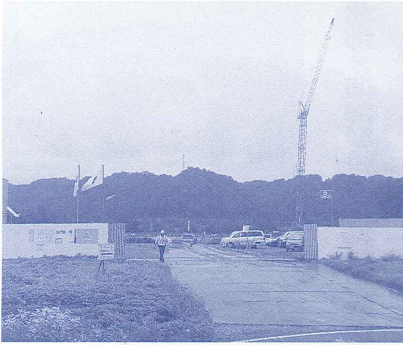
全国青年都道府県議会議員の会視察  
(H26年2月に群馬県で総会開催)

### 渋川医療センター

#### 28年4月開設に向け着工

渋川医療センターの建設工事が着工となりました。施工は大成建設(株)です。

総事業費は163億円です。さらなる国・県の支援を要望していきます。



3月22日に地鎮祭が行われ  
造成工事が進む(白井)

### 大雪の農業被害対策

#### ハウス復旧費・融資拡大

2月の大雪被害に対して追加補正が組まれ、農業用ハウスや畜舎等の復旧は405億4600万円に増額、資金融資枠は274億円に拡大されました。

ハウスの再建には、国庫補助50%に県・市町村で40%上乗せしますが、業者や資材不足で撤去も再建も進んでいません。被災農業者は7600に上ります。

全てのハウスが再建できるまで、国・市と連携しながら支援していきます。



倒壊した農業用ハウス  
(赤城町樽)

### 四ツ角・ネーブルスクエア

#### 県営住宅が9月着工

入沢からネーブルスクエアに移転する県営住宅の入札が行われ、建設工事が始まります。

20戸と16戸の2棟で、H27年9月の完成予定です。

南側の正林堂書店隣には進学塾の建設が始まりました。



ネーブルスクエア北側より撮影  
(正面右建物が正林堂書店)

### 渋川警察署新築整備

#### 20億5295万円

ベトナム・アジア渋川店南東で建設の進む渋川警察署の新築整備は、H26年度20億5295万円が予算化されました。用地は25年度に2億8600万円で購入済みです。

運転免許証の即日交付が可能となり、住民サービスの向上が図られます。27年3月から新しい建物で業務開始予定です。



警察署北側市道の拡幅工事  
正面右建物はベトナム渋川店



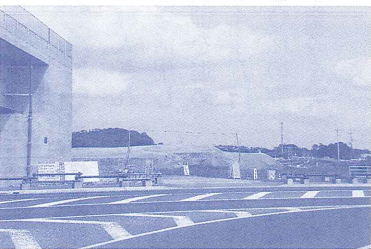
渋川警察署新築(行幸田)  
射撃場も建設される

### 国道17号上武道路

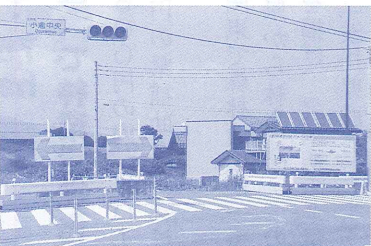
#### H28年度全線開通へ

上武道路は埼玉県深谷市から前橋市田口町をつなぐ、35.5kmの高規格道路です。深谷～上細井までは開通し、H28年度には田口まで全線開通予定です。

田口～半田は前渋バイパスが開通していますので、早期完成を目指していきます。



上武道路・前橋市田口交差点から東を見る



高渋バイパス・吉岡町小倉から有馬方面へ

### 県道高渋線現道拡幅

#### 高渋バイパス用地買収進む

高渋川線バイパスはH25年3月に小倉まで開通となりました。小倉～行幸田・とりせん交差点(2.6km)間も、25年度に約20億円が予算化され、用地測量・買収が進みました。26年度も引き続き用地買収を行います。

バイパスは茂沢川と午王川を渡るため2橋を新設し、茂沢川の付け替え500mも計画されています。

県道高渋川線の現道拡幅は、石原交差点よりせん交差点まで460mを13mから25mに拡げるものです。

26年度は唐沢橋東側半分の工事と、全線の舗装工事を行う予定です。舗装は中央分離帯を設置するため27年度に繰り越した見通しです。

今後も地元と県との調整を図っていきます。



県道高渋線現道拡幅工事(石原交差点)



# 甲装着人骨調査、冬季国体伊香保で開催 太陽光発電の接続制限対策、緑の県民税で竹林整備

## 金井東裏遺跡調査

### H26年度3439万円

H24年12月に、金井地内の上信自動車道建設予定地から甲を着けた状態で火山灰層に埋もれた人骨が見つかり、その後も他の人骨や祭事用の赤玉など貴重な発見が続いています。

県はこの全国初の発見現場の道路を高架にし、保存することを決めました。H26年度もさらなる調査に3439万円を予算化しました。

高架後の保存・展示方法、古代東国文化のPR等市と連携して取り組んでいきます。



上信自動車道予定地の調査現場

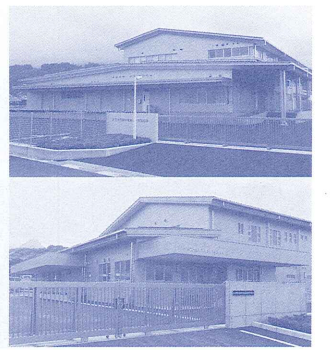
## 冬季国体伊香保で開催

### H27年1月28日開会

H27年1月28日(月)に、第70回冬季国体が群馬県で開催されます。

1月28日(月)2月1日(木)まで、伊香保リンクがスピードスケートとアイスホッケー・成人、前橋の総合スポーツセンターがフィギュアスケートとショートトラック、高崎がアイスホッケー・少年の会場となります。

伊香保リンクは6億1400万円円で冷凍機システムの更新や施設改修を行います。市にも国体室が開設されました。スキーは2月20日(土)23日(火)まで片品村で開催されます。



上:北部給食調理場(中郷)  
 下:南部給食調理場(行幸田)

## 北部・南部学校給食共同調理場完成

### 2学期から調理開始

北部学校給食共同調理場(2000食)と南部学校給食共同調理場(3000食)が完成し、2学期から新しい調理場で給食の提供開始となります。

南部調理場はオール電化で太陽光発電28・5kW(余剰は売電します)を設置しています。北部調理場は東日本大震災の教訓から、LPガスと電気の併用とし、自家発電設備で停電時にも調理ができるようにしました。

東部調理場(赤城町)はH27年度に実施設計、28年度から工事施工、29年度2学期から調理開始の予定です。

## 赤城公民館

### 生涯学習の活動拠点に

赤城公民館が完成し、3月1日から利用が始まっています。総事業費6億5000万円です。延べ床面積1813㎡。合併特例債事業です。

生涯学習の拠点として、多くの団体に利用されています。



「コーラスあかぎね」の渋川市の歌(ステージ上右から2人目が私)

## メガソーラー発電

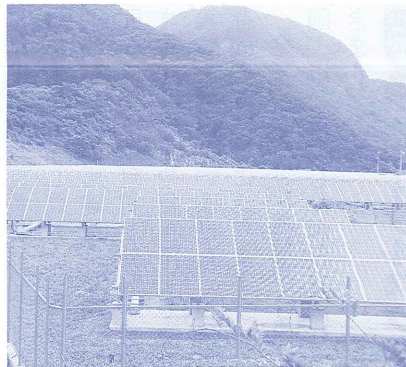
### 早期の接続制限対策を

新聞報道にもありましたが、東京電力が渋川市を含めた県内の一部で、事業者が新設する発電施設の電線網への接続を制限しています。

太陽光発電の買い取り量が急増し、送電線の負担が過大になっているため、対策工事には最短でも3年程かかるということです。

県もH26年度、電源群馬プロジェクトとして36億8341万円を予算化し、県有施設への太陽光発電設備設置や発電事業者と土地所有者のマッチング事業を行います。

市と連携し、国・東京電力に早期の対策を要望していきます。



市内のメガソーラー発電施設

## 旧渋川公民館、北東へ5m

### ひき家移転完了

四ツ角土地地区画整理事業区域内の旧渋川公民館のひき家移転が完了しました。

今後、耐震補強と建物改修が行われます。



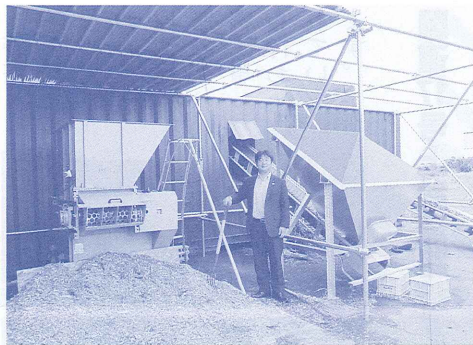
ひき家工事の様子

## ぐんま緑の県民税

### 渋川で竹林整備0・75ha

群馬県は、本年度から導入された「ぐんま緑の県民税」を活用し、水源地域での森林整備を進めます。本年度は6億2244万円の税収を見込み、1120haの森林調査や市町村提案型事業等を実施します。

渋川市は竹林整備事業(面積0・75ha)が採択され、事業費4



廃材によるペレット製造の視察研修(新潟県の木質ペレット推進協議会)

群馬県は、本年度から導入された「ぐんま緑の県民税」を活用し、水源地域での森林整備を進めます。本年度は6億2244万円の税収を見込み、1120haの森林調査や市町村提案型事業等を実施します。

県は北関東で森林面積が一番広く、「森林県から林業県へ」の突破口を掲げ、全国初の全量買取制度の「渋川県産材センター」も稼働しています。県産材を利用した住宅への補助等も推進してきました。

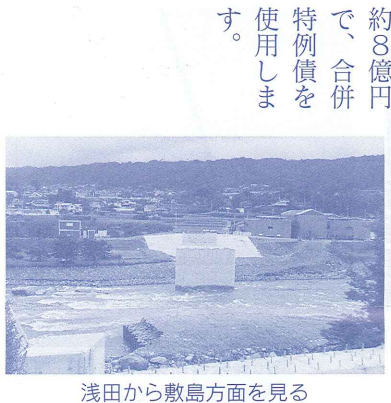
## 東日本大震災

### 福島で復興調査

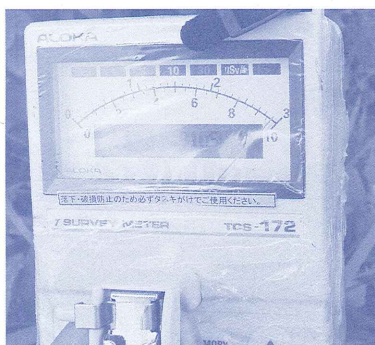
7月15日に全国若手議員の会の研修会で福島県浪江町に視察に行ってきました。

検問を通り町役場で担当の方と合流し、町内を案内していただきました。

避難指示解除準備区域内でも、道路わきには乗用車や漁船の残骸があり、商店街でもガレキ撤去も除染も手付かずのままです。震災から3年以上が経ちましたが、多くの課題が残されていることを忘れずに、被災地と向き合っていきます。



浅田から敷島方面を見る



放射能測定器は高い数値を示した(浪江町の居住制限区域で)